

# 良質な酒米の生産を目指して

琴浦町 杉山 信一郎

## はじめに

- ① 食のみやこ鳥取、に相応しい地酒の元、酒米「強力」「玉栄」「山田錦」の栽培に努力いたします。
- ② 酒米の契約栽培で規模拡大をしてきましたが、以前より、蔵元様から胴割米を指摘されています。胴割米の発生を防ぐために適期刈り取りを行い、酒米としての品質を高め、蔵元様との信頼強化を図ります。
- ③ 蔵元様から求められている減農薬の特別栽培米の生産に取り組み、規模拡大と合わせ、良質な酒米の増加を目指します。
- ④ 鳥取県固有酒米品種「強力」の種子を「酒造組合」並びに「強力を育む会」の要請により生産致します。
- ⑤ 私の住む集落の酒米栽培グループで栽培の、強力、山田錦、玉栄、鳥姫の増反と品質の向上を目指します。
- ⑥ 娘が後継者として就農してくれることになりましたので、長期的な視点に立って、経営の強化と設備投資を行います。
- ⑦ 蔵元様との連携で、酒造りのない夏期間は蔵人を常時雇用し、不足する労働力を確保するとともに、蔵元様との二人三脚で発展する酒米専作経営を目指します。
- ⑧ これらの目標を達成するためには、能力の高いコンバインの導入、作業場兼格納庫の新設、乾燥機の増設が必要であり、このたび、このプランを作成しました。ぜひとも支援をお願いします。

## 1. 私の酒米づくりへの理念

- ア、農地は公共財の観点からして、今後も適正に管理していかなければと思います。
- イ、消費者が安心して消費してくれるものを供給しなければなりません。
- ウ、地域に貢献しなければなりません
- エ、生産者も確実な経営でなければなりません。
- オ、若者の雇用の場でなければ将来はありません。
- カ、後継者が育つような農業にしなければなりません。

## 2. 現状と課題

### 1) 経過

私が農業を始めた昭和 38 年頃は、敗戦の後遺症もまだ多く、我が家も、20 ヘクタール以上あった田畑が農地改革で、わずか 0.6 ヘクタールに減り、出荷もわずか 20 俵にも及びませんでした。

しかし、父が高齢のため家を空けることができなかったことや、お米が高価格であり、林業もさらに盛況であったことから、お米作りと林業で頑張る決意をしました。

規模の拡大とともに、一般米の生産から餅米、そして酒米の生産に代えてきました。現在では地元の大谷酒造を始め、蔵元様数社の協力で酒米専作経営に取り組み、現在の経営規模になりました。

その間、認定農業者となり、6年前からは蔵元様のご協力により、蔵人(昨年から2人)を、酒造りのない夏期の6ヶ月間常時雇用することで、労働力不足を解消してきました。

そして、昨年には、娘が後継者として就農してくれることになり、後継者問題も解決しました。現在、機械作業や酒米栽培の技術を学んでいるところで、本プランの達成にあわせて、経営移譲を致します。

## 2) 課題

### ア、より良い品質の酒米の生産

- ①酒米は、蔵元様との契約栽培を行っています。酒米は、外観ばかりでなく、味の良いお酒になるお米でなければ長期間の契約は望めませんので、より良い品質の酒米の条件として、「胴割米のない高品質な酒米」「減農薬や有機質肥料を用いた栽培」などが求められています。
- ②現在の酒米の収穫は、10月上旬から中旬に刈り取り適期があります。しかし、現有の設備では、刈り遅れによる胴割米の発生が起こっており、蔵元様からも指摘をされています。
- ③「酒造組合」並びに「強力を育む会」の要請により、種子の生産には小型の乾燥機が必要です。

### イ、機械・施設整備

- ①乾燥機は、1日に0.7~0.8ha分の処理能力がありますが、前日の収穫分を乾燥機から出してからでなければ次の生籾を乾燥できないことと、露があると水分が高くなり乾燥時間が多くかかり品質低下も懸念されることから、刈り取りができる時間は、私たちの地区では5時間程度しかありません。現有の3条刈り30psのコンバインでは、1時間に0.1ha、1日に0.5haしか収穫できないため、どうしても刈り遅れて胴割米を生じてしまいます。昨年は刈り取りが終わったのは11月でした。
- ②現在の作業場は、経営面積1.5haの頃の建物で50㎡ほどしかなく、乾燥調整の作業を行うにも手狭ですし、刈り取り当日分のお米しか置けない状況です。また、トラクターを始め酒米栽培に必要な機械の格納場所がないため、コンテナの中や橋梁の下に置いている状況であり、早急に対策が必要です。
- ③今後、面積の拡大を予定しており、現有の乾燥機では今以上に刈り遅れにならざるを得なくなります。  
また、現状では、複数品種を同一日に刈り取りを行うことができません。
- ④写真のとおり、強力、山田錦とも長竿で(強力140cm、山田錦120cm、玉栄70~75cm、コシヒカリ85~95cm)長竿対応のコンバインでなければ無理が生じます。(写真別添)
- ⑤10haの籾の乾燥と、種子の供給要請に応えるためには2台の乾燥機が必要です。

現有の機械一覧表

機 種	馬力数等	台 数	購 入 年	備 考
トラクター	33ps	1	H14 年	償却済
ドライブハロー	3m	1	H14 年	償却済
田植え機	6 条	1	H20 年	
コンバイン	3 条(30ps)	1	H19 年	中古・償却済
乾燥機	5,000kg	1		リース(H24 終了)
籾摺機	5 インチ	1		リース(H24 終了)
選別機	2t/時	1		リース(H24 終了)
トラック	1t	1	H17 年	償却済
パワーショベル	3.5t	1	H23 年	林業と共有
肥料散布機	300kg	1	H15 年	償却済
動力散布機		2	H20、22 年	
草刈り機		2	H20、22 年	

ウ、栽培圃場の集約化と品種・作付分散

- ①栽培圃場が 6km の間に分散していますので、集落ごとの農地集約と品種・作付分散を行わなければなりません。

エ、経営の強化

- ①継続して夏期間には蔵人を常時雇用できる経営にしなくてはなりません。  
 ②娘へ経営移譲できる経営にしなくてはなりません。  
 ③集落内には、他の認定農業者や受託グループがありますので、調和を図りながら、目標とする経営規模の中でより高収益を目指さなくてはなりません。

3. 改善目標と期待される効果

1) 改善目標

ア、より良い品質の酒米の生産

- ①3 年後は、酒米作付け予定 12.1 ha のうち、3 割の 3.6ha で特別栽培米を生産します。  
 ②適期刈り取りを行い、刈り遅れによる胴割米をなくします。  
 ③県下の酒米生産者の皆様へ良質な種子を生産いたします。

## 酒米の栽培目標

単位：ヘクタール

区分	項目	H23 実績	H24	H25	H26
作付け 面積	酒米合計	9.01	9.47	11.1	12.1
	うち山田錦	4.94	5.19	6.0	6.5
	玉栄	2.11	2.22	3.0	3.5
	強力	1.96	2.06	2.1	2.1
	うるち米(販売なし)	0.57	0.60	0.6	0.6
	作付け合計	9.58	10.07	11.7	12.7

単位：ヘクタール

区分	項目	H23 実績	H24	H25	H26
特別栽 培米の 面積	酒米合計	0	0	2.2	3.6
	うち山田錦	0	0	1.2	2.0
	玉栄	0	0	0.6	1.1
	強力	0	0	0.4	0.6

単位：kg

区分	項目	H23 実績	H24	H25	H26
酒米の 生産量	酒米合計	43,200	46,352	54,630	59,730
	うち山田錦	24,000	25,950	30,000	32,500
	玉栄	10,800	11,544	15,600	18,200
	強力	8,400	8,858	9,030	9,030

### イ、機械・施設整備

- ① 適期刈り取りに必要な4条刈コンバインの導入を希望します。
- ② 作業場兼格納庫を新設し、効率的な乾燥調整作業を行います。同時に、機械を適切に管理します。
- ③ 面積拡大にあわせ、乾燥機を増設します。

### ウ、栽培圃場の集約化と品種・作付分散

- ① 集落ごとに農地の集約化を行い、あわせて品種構成の検討と作付け分散により、作業の効率化と、適期刈り取りを行います。

## 農地の集積目標

単位:ヘクタール

区分	項目	H23実績	H24	H25	H26	H26の内訳			
						山田錦	玉栄	強力	うるち
地区別 集積 目標	■	2.00	2.00	2.0	2.0	2.0			
	■	4.38	2.57	3.5	3.7	1.0		2.1	0.6
	■	2.00	3.30	3.5	3.5	3.5			
	■	1.20	1.20	1.2	1.5		1.5		
	■	0.00	1.00	1.5	2.0		2.0		
	作付け合計	9.58	10.07	11.7	12.7	6.5	3.5	2.1	0.6

標高が低い杉地、法万では、玉栄を作付けし、収穫時期を早める。

■、■は、山田錦を作付けする。

■では、残りの山田錦と強力を栽培する。

### エ、経営の強化

- ①蔵元様との信頼関係に基づく契約栽培を柱とし、規模拡大と特別栽培米に取り組み、強い酒米経営を目指します。
- ②プランの達成を契機に、娘への経営移譲をします。
- ③要望に応じ、作業受託や集落の酒米栽培グループとの連携を強めます。

## 2) 取り組みの効果

### ア、より良い品質の酒米の生産

- ①強力の栽培強化により、「食のみやこ鳥取」の地酒の増産に寄与いたします。
- ②特別栽培米に取り組むことで、高価格の販売（30kg(1袋)あたり1,000円アップ）と所得の増加が行えます。また、蔵元様からの要望に応えることによって、蔵元様と継続した契約を行うことができます。
- ③適期刈り取りにより、胴割米の発生をなくすことによって、醸造用の酒米としての品質を高め、蔵元様との信頼を高めます。
- ④種子の生産により酒米生産者の皆様に貢献できます。

### イ、機械・施設整備

- ①4条刈コンバインの導入により、乾燥機の処理能力を活かし、1日0.8haの刈り取りを行うことによって、適期刈り取りを行うことができます。その結果、胴割米の発生を防ぐことができます。
- ②作業場兼格納庫の新設により、全ての機械を適切に管理することができます。また、乾燥調整の作業を、効率良く行えるような機械配置とすることにより、労働力の軽減が図れると同時に、作業の安全性が高まります。

③乾燥機の増設により、面積増加に対応できます。また、複数品種の刈り取りにも対応できるため、一層の適期刈り取りに効果があります。

ウ、栽培圃場の集約化と品種・作付分散

①集落ごとに一定以上の農地を集約することにより、効率的な作業を行えます。また、刈り取り時期を分散させるような品種・作付の計画的な実施により、効率的な作業と、適期刈り取りが行えます。

エ、経営の強化

- ①規模拡大と特別栽培米の取り組みにより、所得が増加します。不足する労働力は、継続して蔵人を常時雇用することによって、蔵元様との連携が強まります。
- ②プランの達成により、娘が安心して就農できる経営基盤を作り上げます。

4. 目標に向けての具体的取り組み

1) 取り組みの内容

ア、より良い品質の酒米の生産

- ①鳥取県特別栽培農産物認証制度に沿って、蔵元様から要望がある特別栽培米の栽培を行います。日照や通風条件が良い圃場で、全品種、3割を目標に栽培します。
- ②適期刈り取りを行い、胴割米のない、高品質な酒米を生産します。

イ、機械・施設整備

- ①4条刈コンバインを導入し、1日の刈り取り面積を増やして適期刈り取りを行います。
- ②作業場兼格納庫を新設し、乾燥調整作業がスムーズに行えるような機械配置を行います。あわせて、機械の適切な保管を行います。
- ③乾燥機を増設し、規模拡大と種子の生産に対応します。また、複数品種を同じ日に刈り取りができるようにして、適期刈り取りに役立っています。

ウ、栽培圃場の集約化と品種・作付分散

①集落ごとに、一定以上の面積を集約し、作業の効率化を図ります。また、適期刈り取りができるように、計画的な品種・作付を行います。これらによって、適期刈り取りを目指します。

目標年における品種別労力分散計画

区分	面積(ha)	田植時期			収穫時期		
		5月上旬	中旬	下旬	10月上旬	中旬	下旬
玉栄	3.5						
強力	2.1						
山田錦	6.5						

エ、経営の強化

- ①順次、規模拡大を行います。規模拡大と特別栽培米の取り組みにより、良質米の増産を目指します。不足する労働力は、継続して蔵人の夏期間常時雇用を行います。
- ②経営移譲へ向け、機械作業技術や、酒米の栽培技術を娘へ伝えます。

2) 取り組みの計画と役割分担

項目	H24年	H25	H26	支援体制
コンバインの導入	◎			県、町
作業場兼格納庫の建設		◎		県、町
フォークリフトの導入		○		
乾燥機の導入			◎	県、町
蔵元との連携	○	○	○	
特別栽培米の栽培		○	○	県
作期分散のための作付け実施	○	○	○	
規模の拡大	○	○	○	

注：◎ みんなでやらいや農業支援事業の対象(県、町の支援が必要なもの)

○ 実施主体が自ら行うもの

3) 機械導入計画

消費税含む(単位:千円)

機種	導入年	金額(千円)	能力等	数量	備考
コンバイン+デバイダ	H24年	7,801	4条	1	
作業場兼格納庫	H25年	14,800	240㎡	1	
乾燥機	H26年	1,559	2,500kg	1	

今年度にコンバインを導入したい理由。平成24年度に建屋を、25年度にコンバインの導入も検討しましたが建屋の工事が積雪時のため、年度内の完了は不可能であり、また今季の長竿種の刈り取りをみますと、現有のコンバインでは刈遅れが酷く、是非計画通りの導入をさせて頂きたいと思えます。そのことにより、経営移譲までにプランの目標を達成できますし、非需要期の導入は安く購入できます。

4) 事業費の内訳

平成24年度

消費税含む(単位:千円)

事業種目	事業費	内訳			備考
		県費	町費	実施主体	
コンバイン+デバイダ	7,801	2,476	1,238	4,087	県1/3、町1/6、 実施主体1/2+消費税
合計	7,801	2,476	1,238	4,087	

平成 25 年度

消費税含む(単位:千円)

事業種目	事業費	内 訳			備 考
		県費	町費	実施主体	
作業場兼格納庫	14,800	3,000	1,500	10,300	県 1/3(上限 3,000)、 町 1/6(1,500)、 実施主体残額+消費税
合 計	14,800	3,000	1,500	10,300	

平成 26 年度

消費税含む(単位:千円)

事業種目	事業費	内 訳			備 考
		県費	町費	実施主体	
乾燥機	1,559	495	247	817	県 1/3、町 1/6、 実施主体 1/2+消費税
合 計	1,559	495	247	817	

## 参考資料

単位:kg/10a

区分	項目	H23 実績	H24	H25	H26
酒米の 反収	酒米平均	479	489	492	494
	うち山田錦	486	500	500	500
	玉栄	512	520	520	520
	強力	429	430	430	430

単位:千円/kg

区分	項目	H23 実績	H24	H25	H26
酒米の 販売 単価	酒米平均	0.320	0.320	0.325	0.327
	うち山田錦	0.333	0.333	0.340	0.343
	玉栄	0.283	0.283	0.290	0.293
	強力	0.327	0.327	0.333	0.337
特別栽培米比率(%)		0.0	0.0	20.0	30.0

※特別栽培米は、30kg あたり 1,000 円高(1kg あたり 33.3 円高)。

単位:千円/10a

区分	項目	H23 実績	H24	H25	H26
酒米の 反あた り収益	酒米平均	153	156	160	161
	うち山田錦	162	167	170	172
	玉栄	145	147	151	153
	強力	140	140	143	145